

〇 城 土 第 1 3 8 号
平成 2 0 年 1 0 月 2 0 日
(2 0 0 8 年)

国土交通省 道路局長 様

京都府 城陽市長 橋本 昭男



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 2 0 年 9 月 1 9 日付け、国道企第 3 7 号で依頼のありました標記の
ことについては、別紙様式のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

京都府 城陽市

- 平成21年度より道路特定財源は一般財源化されるが、道路整備に必要な財源が十分に配慮されるように要望する。
- 税収の全額を道路整備に充てることを義務付けている現在の仕組みを改めるにあたっては、自動車ユーザーの十分な理解を得るとともに、高速料金の値下げなどの措置を実施されたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

京都府 城陽市

②—1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

国道24号の渋滞については、国道307号から新池交差点間は以前から今日まで慢性的な状況であり、加えて最近では国道24号東西方向での渋滞も多く発生している。

新名神高速道路については、城陽～八幡間の事業が着手され、平成28年度の供用予定である。

○ 課題

新名神高速道路については、城陽～八幡間の事業が着実に進められているものの、大津～城陽間の着工の時期が定まっていない現状においては、国土開発幹線自動車道の機能が十分に発揮されない状況である。本市のまちづくりの根幹として位置づけている新名神高速道路の一日でも早い全線の着工整備を期待する。

また、新名神高速道路の城陽JCT・ICが整備されるに伴い、国道24号の一層の渋滞悪化が懸念され、緩和対策が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②―② 地域の目指すべき将来像

京都府 城陽市

本市におきましては、新名神高速道路の計画を機に総合計画を見直し、新名神高速道路を活用したまちづくりを進めているところです。とりわけ本市の東部地域は山砂利採取がおこなわれ、現在採取跡地の埋め戻しをおこなっており、平成19年5月に東部丘陵地整備計画を策定し、その中で新名神高速道路を活用した土地利用の展開・企業誘致を目指した取り組みを進めているところです。したがって、新名神高速道路は本市まちづくりの根幹と位置づけており、なくてはならない道路であります。

また、本市の道路網は、東西線が弱い状況であり、都市計画道路をはじめ、多くの道路整備が控えている。加えて今後、ますます高齢化が進む中、その対策のための歩道整備やバリアフリー化事業が必要となってくる。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

京都府 城陽市

○ 重点事項	○ 代表事項	○ 期待する効果や評価等	○ その他
地域活力の向上	新名神高速道路	中部圏、関西圏等の道路交通の要点となり、地域のまちづくりの活性化に大きく寄与する。	新名神高速道路、平成28年城陽～八幡間完成予定
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	国道24号拡幅	渋滞対策	